

事業報告書（令和 元 年度）

事業名 SDGs 講座と絵画展

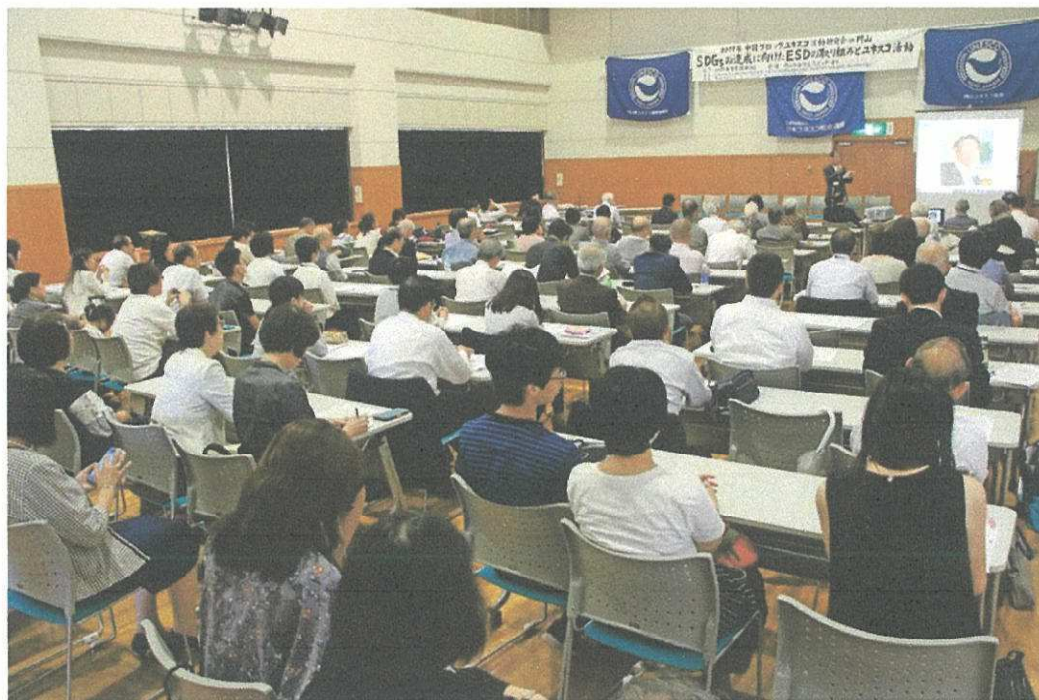
団体名 岡山ユネスコ協会

担当者名 小坂田孟

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

- ① 「平和の鐘を鳴らそう」、令和元年8月15日、岡山市長泉寺、台風のため中止。
- ② 「2019 中国ブロック・ユネスコ活動研究会 in 岡山」、令和元年9月28日13時～18時、岡山国際交流センター8階イベントホール、中国5県ユネスコ会員・一般市民・学生等、約120名、「SDGsの達成に向けたESDとユネスコ活動について」をテーマに、「第1部 中国地区内ユネスコESD活動団体（個人）顕彰」（表彰受賞者は、広島県…原 広司（故人、原爆ドーム画家）、山口県…野田学園中学高等学校、島根県…浜田市立今福小学校、鳥取県…沖 廣俊（いなば国府ガイドクラブ代表）、岡山県…岡山市立小串小学校、岡山ESD推進協議会で、表彰受賞者に表彰状と記念品を贈呈後、受賞者によるプレゼンテーション）、「第2部 ユースによるユネスコ活動プログラム」（岡山ユネスコ協会青年部の進行のもと、ユースの活動の現状報告、グループディスカッション、全体発表）、「第3部 SDGsの達成に向けたESDとユネスコ活動について」（岡山ユネスコ協会の会長と顧問の進行のもと、岡山市長と日本ユネスコ協会連盟理事長をメインゲストに、岡山大学副学長と岡山県商工会議所連合会会長をサブゲストに、トークセッション（「ESD for 2030」に向けて）、グループディスカッション、全体発表とまとめ）の3部構成で実施した。



「2019 中国ブロック・ユネスコ活動研究会 in 岡山」の様子（受賞者のプレゼン風景）

(様式第8号)



「2019 中国ブロック・ユネスコ活動研究会 in 岡山」の様子（全体ディスカッション風景）

- ③「絵で伝えよう私の町のたからもの絵画展」、展示期間：令和2年1月7日～13日、岡山県生涯学習センター1階展示スペース、絵画展応募者と保護者と学校関係者及び一般市民、応募者等の関係者と一般の展示観賞者を合わせて約1500名、応募作品の中から選定した入賞作品（小中学校の学年ごとに、優秀賞、優良賞、佳作を選定。その中からさらに日本ユネスコ協会連盟会長賞、岡山ユネスコ協会会長賞、三宅正勝賞を選定）を展示。



「絵で伝えよう私の町のたからもの絵画展」の様子

(様式第8号)

- ④「絵で伝えよう私の町のたからもの絵画展の表彰式及び記念講演会」、令和2年1月13日13時～15時、岡山県生涯学習センター大研修室、表彰児童生徒及び保護者、ユネスコ関係者、一般市民、約200名、先に記念講演「平和の礎は“豊かな体験”と“人とのつながり”から ～真の平和教育を目指して～」（講師：岡山大学附属中学校 竹島 潤先生、ESD/SDGsの考えを踏まえての真の平和教育を目指しての講演）を行った後、絵画展審査の総評を行い、引き続き受賞者への表彰式（小学校・中学校）を行った。



「絵で伝えよう私の町のたからもの絵画展の表彰式及び記念講演会」の様子

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

「絵で伝えよう私の町のたからもの絵画展」関係については、未来へ残したい、子孫に伝えたいからもの、文化財に対して、これまでは建築物を描いたものが多かったが、ESDの視点やSDGsの視点をより意識化していくことで、描かれた対象も建築物だけでなく、自然、田畑、絶滅危機種、農業産物、畜産とかなり対象が広がってきた。

「中国ブロック・ユネスコ活動研究会」も、SDGsの達成に向けたESD(「ESD for 2030」)にフォーカスを当てて、2030年に向けたユネスコ活動(ユネスコ活動は「ユネスコ活動に関する法律」に定められた日本国民誰もが取り組むべき活動)のあり方を中国5県から集まったユネスコ協会関係者を中心に話し合った。

3. 取組の成果(参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など)

「絵で伝えよう私の町のたからもの絵画展」関係については、・日本ユネスコ協会連盟が進めている、ユネスコスクール支援事業「ユネスコ協会ESDパスポート事業」とも連携して、相乗効果があった。岡山芸術交流へも学校が団体に鑑賞するところもあった。表彰式とESD/SDGsをテーマにした記念講演を兼ねることにより、保護者や一般市民にも、ESD/SDGsについて理解と関心を高められた。

「中国ブロック・ユネスコ活動研究会」は、グループディスカッションと全体ディスカッションを多く取り入れたことで、参加者も受け身ではなく、主体的な参加者として、ESD/SDGsに関してもより自分ごととして捉えることができ、お互いに学び合え、理解し合えることができた。これにより、多くの参加者が各自の活動の中に、ESD/SDGsをより内在化していくことができるようになった。

4. 今後の課題と展望

岡山ユネスコ協会としては、今後、SDGsの達成に向けたESD(「ESD for 2030」)をより一層推進していきたいと考えているが、岡山の学校にはユネスコスクール加盟校が多いので、これらの学校との連携を強化・充実していきたい。日本ユネスコ協会連盟が主体となって進めてきたユネスコスクール支援事業「ユネスコ協会ESDパスポート事業」も、2020年度からは「ユネスコ協会SDGsパスポート事業」となり、各ユネスコ協会が主体(日本ユネスコ協会連盟は後援)となることから、岡山でも岡山ユネスコ協会独自のパスポートを作成発行することで、これまで以上に岡山の実状に即したより効果的な事業(活動)展開を進めていきたいと考えている。